

連合神奈川・相模原地域連合

「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」に対する相模原市からの回答を受ける

2018年12月27日（木）相模原市役所において、相模原市より、連合神奈川及び相模原地域連合が同年9月4日に実施した「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」に対する回答がありました。

相模原市からは加山市長をはじめ、湯山副市長以下6名の幹部が立ち会いました。対する連合は、連合神奈川から柏木会長をはじめ役職員7名、相模原地域連合から川崎議長をはじめ役員8名でこれを受けました。

冒頭、加山市長から、柏木会長と川崎議長へ、それぞれ回答書が手交されました。

続いて、湯山副市長から回答の概要説明を受けた後、連合神奈川からは「働き方改革に関連する教職員の労働時間縮減」等について、相模原地域連合からは「次期総合計画及び広域交流拠点整備計画における街づくり重点施策」等について改めて質問を行い、相模原市の考えを確認するとともに活発な意見交換を行ない、加山市長と「ゆとり・豊かさ・社会的公正」と「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、より一層の協力を確認しました。

